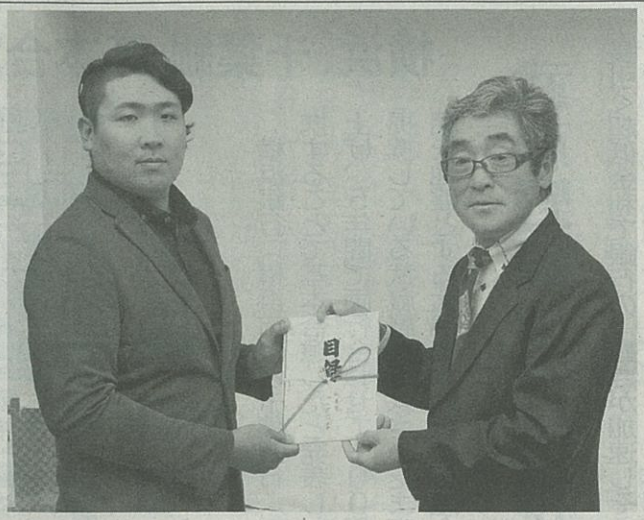
永沢圧巻63で初V

プロシニア 星が6差完勝



プロレギュラーの部を制した永沢（左）に目録を手渡す、同シニアの部優勝の星県プロゴルフ会会長

ゴルフ 県プロ選手権

第26回県プロゴルフ選手権は10日、宇都宮市のイーストウッドCC（6835ヤード、パー72）で行われ、メインのプロレギュラーの部は永沢翔（アローエースGC）が1イーグル7バーディーの9アンダー63の好スコアで初優勝を飾った。プロシニアの部は県プロゴルフ会会長の星清（サンヒルズCC）が9バーディー1ボギーの8アンダー64で王座に就いた。

アマチュアレギュラーの部は、県社会人アマ2勝の相馬義孝（那須塩原）が3バーディー4ボギーの1オーバー73で初優勝、同シニアの部は石井淳二（同）が2バーディー3ボギーの1オーバー73で初めて頂点に立った。

飛距離自慢の24歳

○…プロレギュラーの部を制した永沢翔（アローエースGC）は東北福祉大出で一昨年にプロテストに合格した24歳。180ヤード、100キロ。トラックマン（ゴルフ用弾道計測器）の計測でヘッドスピード51・5メートルという豪打で圧勝した。

いきなりスタートの10番パー5（534ヤード）を19度のユーティリティーで5メートルに付けイーグル発進。12番でもバーディーを奪い33でターン。午後のアウトでは2番パー4から5連続バーディー。圧巻は8番パー5（512ヤード）で、第2打を8番アイアンで乗せて楽々バーディー。6バーディーの30と手のつけられない内容だった。

「ここのところアンダーで回れず不調だったのに信じられない」と驚きを交えてラウンドを振り返った永沢。「これを機にチャレンジツアーで頑張って上位を目指したい」と目を輝かせた。

主催者の顔にも笑み

○…プロシニアの部を制したのは主催者でもある県プロゴルフ会会長の星清（サンヒルズCC）。レギュラーの部と同じティーを使用しての優勝だけに「28パット、9バーディーは出来過ぎ」と上機嫌だった。

勝因に挙げたのは大会前、同じゴルフ場所属の20歳の徳永弘樹プロからもらったというアドバイス。「（パターは）ボールを押すようにとヒントを与えられ、入り出した」と明かした。

26回を迎えた同大会。「本来はレギュラーとシニアで別々に大会を開催するのがベスト。近い将来、実現できるように（関係機関に）頭を下げて回りたい」と会長の顔に戻っていた。

那須塩原・相馬義孝（アマレギュラーの部を1オーバー73で制し）「最近ドライバーを変えてから大きく曲がるようになってしまった。その中での1オーバーはまずまず。5メートル前後のパットが3回入ってくれたのが勝因」

【第26回県プロゴルフ選手権大会】（6835ヤード、パー72）

【プロレギュラーの部】

グロス	アウト	イン			
−9	①		永沢　翔	（アローエースGC）	63（30、33）
−6	②		大原　俊之	（フリー）	66（33、33）
	②		滝　雅志	（〃）	66（34、32）
−5	④		阿部　裕樹	（〃）	67（35、32）
	④		大貫　涉太朗	（〃）	67（33、34）
	④		中里　鉄也	（塩原CC）	67（34、33）
	④		高橋　慧	（セコビアCC）	67（31、36）
	④		遠藤　彰	（フリー）	67（32、35）
−4	⑨		平井　俊光	（〃）	68（33、35）
−3	⑩		小川　厚	（サンヒルズCC）	69（34、35）
	⑩		西村　匡史	（フリー）	69（38、31）
	⑩		小石　敬信	（ロイヤルCC）	69（33、36）
	⑩		磯　佑太	（千成GC）	69（33、36）

【プロシニアの部】

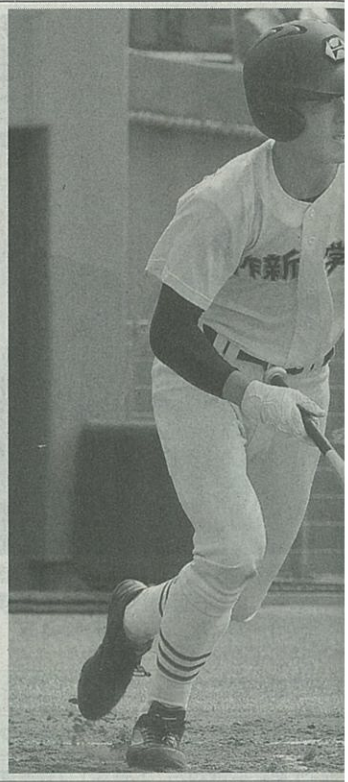
グロス	アウト	イン			
−8	①		星　清	（サンヒルズCC）	64（31、33）
−2	②		小嶋　光康	（小山GC）	70（37、33）
−1	③		深沢　幸雄	（フリー）	71（34、37）
	③		鷲尾　茂彦	（皆川城CC）	71（36、35）
	③		牛山　正則	（フリー）	71（38、33）
0	⑥		久我　明	（那須高原GR）	72（36、36）
	⑥		清水　信行	（ゴルフパレステット）	72（37、35）
	⑥		渡辺　敬博	（那須伊王野CC）	72（35、37）
	⑥		山崎　伸明	（東静ブランニング）	72（35、37）
	⑥		中　庸行	（広陵CC）	72（37、35）

【アマレギュラーの部】

グロス	アウト	イン			
+1	①		相馬　義孝	（那須塩原）	73（37、36）
+2	②		鈴木　貴士	（宇都宮）	74（39、35）
	②		後藤　貴浩	（〃）	74（38、36）
	②		金沢　太竜	（〃）	74（37、37）
	②		張田　巧	（日光）	74（36、38）
+4	⑥		酒井　正裕	（那須塩原）	76（37、39）
+5	⑦		康　翔亮	（佐野）	77（41、36）
	⑦		船越　秀人	（上三川）	77（39、38）
	⑦		大塚　進	（真岡）	77（39、38）
	⑦		立花　吉隆	（東京）	77（36、41）

【アマシニアの部】

グロス	アウト	イン			
+1	①		石井　淳二	（那須塩原）	73（37、36）
+2	②		東本　修	（埼玉）	74（38、36）
+3	③		久我　努	（那須塩原）	75（38、37）
	③		長江　健市	（宇都宮）	75（39、36）
+4	⑤		松村　茂	（さくら）	76（38、38）
	⑤		歌川　康広	（宇都宮）	76（34、42）
+5	⑦		和光　利一	（〃）	77（41、36）
	⑦		大塚　俊男	（〃）	77（39、38）
+6	⑨		関口　健一	（那須塩原）	78（41、37）
+7	⑩		野口　政夫	（佐野）	79（40、39）
+22	⑬		長島　雅一	（日光）	94（44、50）
+24	⑭		渡辺　辰磨	（宇都宮）	96（48、48）



春8強止まりの屈辱をバネに9連覇を狙う作新の石井主将

国学栃木に挑む公立

Cブロック　D

作新、佐野日大の一騎打ちか。今春は8強止まりの作新だが本格派右腕林勇成を中心に投手陣層の厚さは群を抜く。9連覇の命運は石井巧、福田真夢を軸とする打線に懸かっている。佐野日大は春先に右手を骨折した主戦松倉亮太が戦列復帰。橋浦大知、松本翔大ら打線も強力で9年ぶりの優勝へ士気は高い。白鷗足利は高橋諒大ら昨夏の準優勝メンバーがチームをけん引。初戦を突

の7人制男女日本代表1次候補メンバーを発表し、男子は15年の15人制ワールドカップ（W杯）代表の藤田慶和（パナソニック）ら13人、女子は16年リオデジャネイロ五輪代表の中村知春（アルカス熊谷）ら17人が選ばれた。

栃木高出）と国学栃木高3年の松田凜日がメンバー入りした。

男子は4位に入ったリオ五輪代表から5人を選出。岩渕健輔ヘッドコーチは9月開幕の15人制W杯日本大会に出場する日本代表からも選ぶ可能性を示し「W杯後に7人制

第54回 知事杯ゴルフ